

令和3年10月18日
仙台管区気象台

初冠雪（蔵王山）

本日（10月18日）、蔵王山の初冠雪を観測しました。

平年より 10日早く（平年は、10月28日）、

昨年より 7日早い（昨年は、10月25日）観測です。

参考資料

1. 初冠雪とは

寒候期（秋から春に至る期間）の中で季節的な現象としての冠雪があった最初の日を言います。

2. 冠雪とは

山頂（山頂が見えない場合は中腹）が雪、または白色に見える固形降水（霧雪、みぞれ、吹雪、細氷、雪あられ、ひょう、氷あられ、凍雨（ただし、暖候期のひょう及び氷あられを除く））で覆われている状態を、観測所から望観できたとき。

3. これまでの観測記録

仙台管区気象台では1940年から観測を行っており、これまでの一番早い記録、一番遅い記録は以下の通りです。

一番早い記録（最早）：2011年10月 4日（平成23年）

一番遅い記録（最晩）：1941年11月22日（昭和16年）

4. 観測方法

観測は気象台において目視または望遠鏡などを用いた遠望観測によって行い、「日」を単位としています。気象台において冠雪が観測できない場合には初冠雪としません。

本件に関する問い合わせ先

仙台管区気象台気象防災部観測課

平日 08:30-17:15 Tel 297-8106